

# 元んしんぶんり



アサガオ

今	Microsporium canis	(1)	お知らせ	(4)
回	検査情報 (腸管病原菌の検出状況)	(2)	声	(4)
の	検査Q & A (超悪玉コレステロール)	(2)	メモ (施設内勉強会)	(4)
紙	センター紹介 (全自動免疫血清検査システム)	(3)	編集後記	(4)
面	ひろば (ブログ)	(3)	中綴じ (一病態へのアプローチ)	

## *Microsporium canis* (イヌ小孢子菌)

最近のペットブームに伴い、動物と接触する機会が多いヒトに動物生息型皮膚糸状菌の感染症が発生する事例が増加しています。日本における症例は1929年の報告が初めて1960年代後半頃より急激に広まり現在は全国的に蔓延しています。中でも*Microsporium canis*は、イヌ小孢子菌と呼ばれ、その代表的な原因菌のひとつです。本菌の自然宿主はその名が示すとおりイヌ、ネコなどの動物ですが、ヒトへの感染はその動物との直接的または、間接的伝播により動物から伝染します。ヒトに感染した場合、激しい特徴的な炎症応答—しばしば化膿性、時に自然治癒する—を示します。

本菌の発育は比較的速く(3~4日)、サブロー・グルコース寒天などの日常検査に用いる培地に黄白色から淡黄色の扁平なコロニーをつくり、その周囲は特徴的な長い絨毛が見られます。(写真1)

またスライドカルチャーによる鏡検では、本菌の特徴的形態である大分生子が豊富に見られます。この大分生子は写真2のように、先端の尖った紡錘形で細胞壁が厚く棘がみられる大型のものです。一方、小分生子は数が少なく棍棒状で菌糸の側壁に単純性に形成されます。



写真1: *Microsporium canis*  
(サブロー・グルコース寒天培地)



写真2: スライドカルチャー培養  
(ラクトフェノール・コットン青染色)

写真1: 医真菌学辞典第2版 写真2: 病原真菌と真菌症改訂2版より引用



## 検査情報

### 腸管病原菌の検出状況

梅雨から夏にかけて、食中毒の事例が増える季節となりました。食中毒の原因となる腸管病原菌について当検査センターにおける月別検出状況を下の表にまとめました。年間を通じて、検出された腸管病原菌の80.4%をカンピロバクターが占め、次いでサルモネラが12.5%で、この2菌種で検出された腸管病原菌のほぼ93%を占めています。月別にみると、いずれの菌においても5月から11月の陽性率が高くなっています。特にビブリオ、アエロモナス、プレジオモナスは夏場、海水温度の上昇に伴い海水中の細菌数増加により魚介類の菌汚染率が高くなるため6月から10月に集中して検出されています。一方、エルシニアは菌の性質上低温（冷蔵庫内）でも増殖発育可能なため、夏場よりむしろ梅雨時に検出例が多くなっています。この傾向は、ここ数年大きな変化はなく、今年もこれからの季節には食中毒に注意が必要です。

### 腸管病原菌 月別検出状況

	H16									H17			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
赤痢	0	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	4
サルモネラ	13	15	6	52	60	43	18	24	13	16	13	19	292
カンピロバクター	103	184	191	225	203	181	185	187	116	129	87	86	1,877
ビブリオ	0	0	4	11	17	7	5	1	1	0	0	0	46
エルシニア	1	2	5	1	0	2	0	1	0	1	0	0	13
アエロモナス	4	0	2	8	13	2	2	1	0	0	1	1	34
プレジオモナス	0	0	1	3	10	1	1	0	0	0	1	0	17
病原大腸菌※	2	1	7	7	12	2	4	4	4	1	4	5	53
計	123	202	216	307	317	239	215	219	134	147	106	111	2,336

便培養件数	982	1,053	1,389	1,474	1,497	1,150	1,041	1,089	1,212	1,054	902	985	13,828
陽性率(%)	12.5	19.1	15.6	20.8	21.2	20.8	20.7	20.1	11.1	13.9	11.8	11.3	16.9

※ベロトキシン産生株(O-157など)

## 検査Q & A

Q：テレビ番組で超悪玉コレステロールのSD-LDLというのが紹介されていましたがこれは何ですか？また、測定は可能ですか？



A：LDL-コレステロールは一般の方に説明するとき、分かり易いように悪玉コレステロールなどと表現されております。SD-LDLとは小型高密度-LDLのことで、糖尿病や高中性脂肪血症などが原因となり酸化変性を受けたLDLです。このSD-LDLが高いと、正常サイズのLDLに比べて心筋梗塞の危険性、発症率が高まると言われており“超悪玉”と表現されております。

測定については、直接測定試薬が市販されておりますが、保険点数が無いなど諸事情により、研究目的で測定しているところはあるようです。検査受託は可能ですが、予約検査となっております。料金は10,000円、所要日数は約2週間など他にも注意点がありますので事前にご連絡ください。

検査1課長 椎葉 満



## センターご紹介

### 全自動免疫血清検査システム (LPIA-NV7)

平成16年10月より、D-Dダイマー、可溶性フィブリンモノマー複合体 (SF) を測定する機器として全自動免疫血清検査システムLPIA-NV7を導入しました。

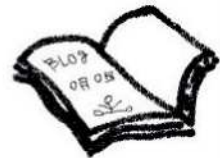
D-Dダイマー、SFは血栓症やDIC (播種性血管内凝固症候群) などの血液凝固・線溶亢進状態を把握するための重要な指標となる検査です。

LPIA-NV7は、感度・特異性が高く、200テスト/時の処理能力を有しております。自動再検など多数の優れた機能を搭載しており、信頼性の高い検査データを迅速に提供できるようになりました。



## ひろば 「ブログ」???

インターネットの普及とともに、ネット上で多くの人が日記をつけている。(Web日記) Web日記は紙の日記と異なり、その内容が広く一般に公開されており、他のサイトからリンクされたり論評されたりする。



こうした新しい形式の「日記風サイト」を指す言葉として「Web (ウェブ)」と「Log (ログ)」（記録）を一語に綴った「Weblog (ウェブログ)」（略称 blog: ブログ) という言葉が誕生した。

ブログを利用するにはあまり詳しい知識は必要なく、メールを使えるくらいの知識があれば誰でも簡単に開設出来る。又、携帯電話からも書き込みや閲覧が可能で気軽に利用出来ることも急増の一因となっている。

又、多くのブログには読者から容易にフィードバック出来る機能があり、話題ごとにコミュニティが形成されている。

最近では、ブログを介して「クチコミ」情報が急速に広がり、後からマスメディアがそのトピックを取り上げるという逆転現象も起こりつつあるようだ。

この様なことから、近い将来私たち医療機関もブログの「クチコミ」情報に振り回される日が来るのかも知れない…。



総務省の調査では、少なくとも月に一度はブログを見る閲覧者が1,600万人に達し、2年後には二倍以上に拡大すると予測している。又、広告やブログをもとにした出版やネット販売等を含めた市場規模も2006年度には2004年度の約40倍の約1,400億円に膨らむと推計している。

(電算課長 西野 満)



## お知らせ

第18回臨床検査センター利用推進激励会（ビアパーティー）開催について

恒例のビアパーティーを今年も盛大に開催します。  
今年の会場は天神ビル屋上ビアガーデンで、天神のど真ん中にあるため交通の便も良く、又、今までとは違った雰囲気楽しんでいただけるよう企画中です。  
皆様のご参加を役職員一同お待ちしております。  
お問い合わせ等につきましては、営業担当者へお願いします。



日時：8月6日（土） 19時00分～  
場所：天神ビル屋上ビアガーデン  
福岡市中央区天神2-13-1

## 声



20数年開業以来、保険点数の矛盾に悩まされ続け数ヶ月前のレセプトが帰ってくる。「この検査は不相当。」との理由。！先日も卵巣腫瘍に際し腫瘍マーカーを減点査定。再審査する気も起こらない。せっかく医師会検査センターのスタッフが検査を行ってくれたのに。無駄になった。次回医療法改正で診療所の保険点数はどうなることやら？技術料はどこえやら？医師会検査センターの運営も厳しいでしょう。私の所にも連日民間検査業者が勧誘に来る。（一貫して断るが）。

皆さん、医師会員なら医師会検査センターをもりあげましょう。 吉田産婦人科 院長 吉田茂則

## メモ

施設内勉強会	臨床検査技師・営業担当者向（参加要予約）			
「性感染症の検査」		7月26日(火)	14:00	於) カンファレンス室
「症例検討」		7月28日(木)	16:00	於) カンファレンス室
「臨床検査の基礎知識」		8月23日(火)	14:00	於) カンファレンス室
「症例検討」		8月25日(木)	16:00	於) カンファレンス室
会議				
臨床検査センター運営会議		7月26日(火)	19:30	於) 第1会議室

**編集後記** 梅雨？今年はどうしたのでしょうか。カラ梅雨かと思えば集中豪雨。各地で様々な被害も出ています。改めて自然界の驚異を感じます。

表紙の朝顔について・・・朝顔は、平安時代に薬草としてヒマラヤ山脈の麓から中国を経て日本に伝わりました。従って、「万葉集」などに「朝顔は朝露負ひて咲くといへど夕影にこそ咲きまさりけれ」（詠み人知らず）と登場するような朝顔は「夕方の日差しの中で美しくあでやかに咲き誇るでしょう」といった意味なので、朝顔ではなく、木樨や桔梗を指すと思われ、特に桔梗が有力ではないかといわれています。花言葉の「はかない恋」は、朝咲いて午後にはしぼんでしまうところからつけられたようです。草のツルがしっかりと巻きつくことから「私はあなたに結びつく」という激情的な花言葉も生まれました。

原産地：アジア 花言葉：はかない恋、私はあなたに結びつく  
 開花時期：7月～10月 最盛期：7月～8月 花色：青、赤、藍、紫など  
 花持ち：1日程度（切り花にするとすぐにしぼんでしまいます。）

編集委員 喜久正和 大塚英樹 椎葉 満 井原慎治 奥野隆子 掛石利彦



〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号  
福岡市医師会臨床検査センター TEL(092-852-1506) FAX(092-852-1510)  
http://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html E-mail: fma@city.fukuoka.med.or.jp